

## 6つの重点対策

- ①防潮堤・護岸の機能強化対策
- ②石油・ガス施設の耐災化対策
- ③漂流物対策
- ④火災対策
- ⑤避難対策
- ⑥救助・救出対策

## シミュレーション実施

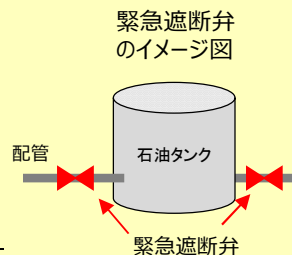
- ・H29～30実施
- ・油やがれき等の漂流状況や漂着場所等を確認

第4期南海トラフ地震対策行動計画（H31～）へ反映

### 対策案 A

#### 緊急遮断弁の設置などによる耐災化【②石油・ガス施設の耐災化対策】

- 自動閉弁が可能な緊急遮断弁の設置、柔軟性のある配管への付替、貯槽本体の基礎部の耐震補強の実施
- 液状化に伴う設置地盤の変形が生じた場合でも、内容物の流出を防止する
- こうした対策の実施には、多額の費用が必要  
⇒ **補助事業の拡充について国へ政策提言（H29～）**



- 屋外ガスボンベ、ドラム缶を拘束し、流出を防止
- プラットホームの高上げ

高上げ例（非常用電源の高上げ）

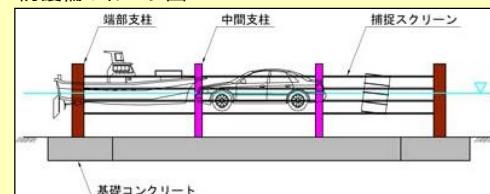


### 対策案 B

#### 防護柵の設置【①防潮堤・護岸の機能強化対策 ③漂流物対策】

- 防護柵を設置し、津波により漂流する建物や車両などの浮遊物の衝突を防止する
- **タナスカ地区、中の島地区における防護柵の設置**について、三重防護による護岸の耐災化に併せた設置の可能性について、関係機関と協議、検討を行う
- その他、**重要施設における漂流物対策**についても、今後、検討を行う

防護柵のイメージ図



須崎港の実施事例



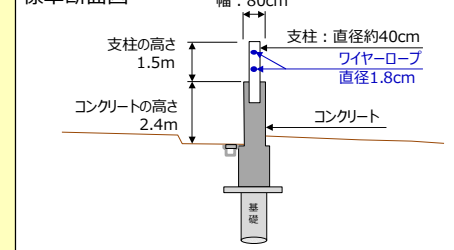
国土交通省高知港湾・空港整備事務所提供

野見漁港（須崎市）の実施事例



須崎市提供

標準断面図



須崎市提供の図面より作成

### 対策案 C

#### 周辺地域の安全確保【④火災対策 ⑤避難対策 ⑥救助・救出対策】

- 津波火災による2次災害を防止するため、油+がれき等の漂着量が多い場所等の対策を具体化
- **火災対策**（初期消火・延焼防止など）
- **避難対策**（避難路の確保など）
- **救助・救出対策**（救助訓練実施など）

国、県、高知市、事業者が連携し、重点対策を多重的に推進！